# 四万十町文化的施設基本計画

2020年2月

### 1. 文化的施設の5つの役割

「あれか、これか」ではなく 「あれも、これも」を貪欲に実現

> 人とまちをつなぐ、 コミュニティの場

子どもたちが自分の 居場所を見つけられる場

最新の情報と技術を 活用した多様な 文化・芸術体験の場

想像/創造体験を通した 白己表現の場

### STEAM教育に基づく 試行錯誤の場

STEAM 教育とは Science (科学)、Technology (技術)、 Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の頭文字を とった言葉であり、児童生徒が数学・科学・芸術などの基礎を身につけた うえで、技術や工学などを応用して、問題解決を図るための必要な能力 を総合的に学習することです。

### 2. コンセプト

ビジョンにつながるコンセプト(ミッション)

### 「人・自然・文化~やわらかい社会をつくる~」

コンセプト実現のためのアクションプラン -

- 図書館、美術館、展示、コミュニティを核とする 文化機能の融合
- 広域なまち全体にひらかれ、各地域をつなぐ
- 施設をともに支えるサポーター団体の設立と
- 実空間と情報空間をつなぐ情報システムの導入

#### 3. サービス目標

- 1. で示す5つの役割を果たすことを前提に、核となる サービス目標、また以下のような目標を組み上げ、役割の 主たる対象者に対して、利用経験者と利用未経験者の双 方に評価を行う。
- 施設間連携によるサービス目標
  - ① 文化施設間の連携
  - 幼保施設との連携
  - 小中高との連携
  - 福祉施設、病院との連携
  - 団体、企業、店舗等との連携
  - 観光施設、宿泊施設、道の駅との連携
- アウトリーチによるサービス目標

「アウトリーチによるサービス目標」

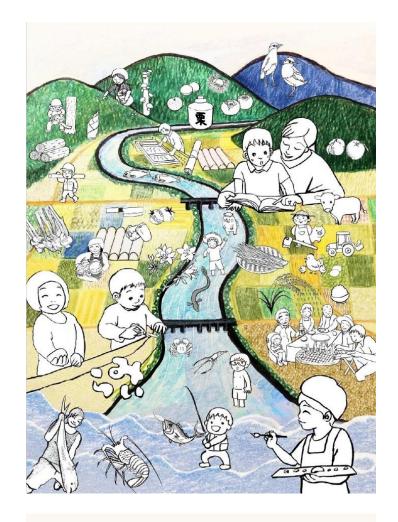
新しい文化的施設が、これまで図書館・美術館などのサービスが及ば なかった方々に対してこれらのサービスを受けることができるように 能動的に働きかけ・広げていく活動目標です。

### 概要版

新しい文化的施設のビジョン

## 「まちの文化が流れ、人にひらかれ、 人が集まる四万十駄場」

これまでの文化を守りながら、これからの文化を生み出す場として、 「駄場」のようにまちと人にひらかれた拠点となることを目指します。



# 予定地

### 旧役場庁舎跡地

周辺に利用余地のある老朽建築物や 空き地が多く、文化的施設を核とした 周辺環境の発展性が高い

### 4. 管理運営

文化的施設の望ましい管理運営方針

- 開館・閉館時間を共通化
- 図書(館)資料、美術(館)資料、歴史資料・文書 資料を区分しない、一体的な資料の扱い
- 図書館と美術館全体を統括する施設長(仮称) を設置
- 文化的施設の自立的、持続的な運営のため、日 常的に資金調達(ファンドレイジング)を実施
- ◆ 職員(司書、学芸員/キュレーター、一般職員)への 要求水準とその保障

# 施設長

文化的施設の職員町民と協働する四万十町

図書館、美術館の両方をバランスよく 見渡し、文化的施設を精力的に牽引す る役割+自然環境に対する関心や参画

### 学芸員/キュレーター

図書館、美術館一体で文化的施設の運 営に積極的に参画し、施設長を補助す る役割

### 一般職員

司書や学芸員をつなぎ、専門職の専門 性が融合的に発揮されることを支援し、 施設長を補佐する役割

◆ 町民との協働による管理運営

町民の自主的かつ主体的な「わたくしたちごと」意識 を感謝と敬意をもって真摯に受けとめ、形式ではな い協働を実現。

#### 5. 建設計画・スケジュール

計画と設計の 一体的進行

まちとのつながりを 意識した設計

・2019年度 : 基本計画の策定、

設計者選定プロポーザルの実施

・2020年度 : 基本・実施設計の策定、サービス計画の策定着手 ・2021年度 : 工事着手、サービス計画の策定完了、移転準備

·2022年度 : 竣工·開館